

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
配当金受領	期末配当 毎年3月31日
株主確定日	(中間配当を行う場合は、毎年9月30日)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711(通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:6287)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 【特別口座】に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度

株主の皆様に対して積極的に利益還元を行うため、年2回(3月、9月決算期)株主優待制度を実施しております。100株以上ご所有の株主様に1,000円分の図書カード(通期で計2,000円分)をお送りしております。



サトーの株主優待「オリジナル図書カード」



第61期 中間期 サトーグループ業績のご報告

平成22年4月1日～平成22年9月30日

株式会社 サトー

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第61期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）中間期の「業績報告書」をお届け申し上げます。

本冊子を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

サトーは創業以来「あくなき創造」をモットーに「生産・販売を業とする者の本分に徹する」ことを社是として、事業コンセプトに掲げる「DCS & Labeling（データ・コレクション・システムズ・アンド・ラベリング）」を推進し、「正確・省力・省資源」を実現して、社会に貢献することを経営の基本方針としております。

そして、国内外において持続的な業績向上をはかるため、企業活動において現状に留まることなく「小さな変化」を継続し、独自のビジネスモデルである「DCS & Labeling」を全世界で推進して、「自動認識業界におけるリーディングカンパニー」を目指してまいります。

代表取締役執行役員社長
兼最高経営責任者

西田 浩一



平成23年3月期第2四半期累計業績（連結）

売上高	38,605 百万円	（前年同期比 105.8%）
営業利益	1,819 百万円	（前年同期比 236.6%）
純利益	693 百万円	（前年同期比 261.9%）
中間配当金	16 円	（前年同期 16円）

当第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、全般に輸出増や政策効果による回復軌道にあったものの、先行きについては不透明感が強まっております。

当社グループにおきましては、前年同期と比べて、生産回復や在庫調整の一巡に伴いサプライ製品の需要が大幅に増加したほか、各市場の効率化・合理化の動きを捉え、ターゲット市場を絞り込み、メカロ製品を絡めた提案営業に力を入れました。グループの総力を挙げ各地域で生産性の向上及び製造コストの低減、各種経費節減への取り組みを継続実施し、収益構造は着実に改善してまいりました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、38,605百万円（前年同期比105.8%）、営業利益1,819百万円（同236.6%）、経常利益1,614百万円（同191.9%）、純利益693百万円（同261.9%）となりました。

■セグメント別

<日本>

営業力の一層の強化を目指して当期初より市場別事業部制を採り、各事業部が専門性の高い提案を行い、そこでの成功事例を全国拠点に横展開して売上拡大をはかっております。半年を経過し、事業部制が定着してきたことに伴い、徐々に新市場、新規用途商談が増加しており、成果が出つつあります。これらの活動により売上高は回復傾向を強め、当第2四半期連結累計期間の売上高は29,359百万円（前年同期比106.6%）へと回復し、営業利益は1,591百万円（同132.3%）となりました。

海外におきましては、米州、欧州、アジア・オセアニア地域各国で売上拡大につとめたことや、中国を始めとするアジア新興国の成長需要を取り込むことが出来たことから、為替変動に伴う減少（影響額△715百万円）がある中、海外売上高は9,246百万円（前年同四半期比103.3%）となりました。構造改革に取り組む欧州や、シンガポールの海外統括機能を本社に統合したアジア・オセアニアを中心として収益改善につとめた結果、海外事業の採算を大きく改善することができました。

<米州>

流通向けのハード商談が不振であったものの、大手運送業向けのOEM供給等、協業への取り組みを強化しております。一方で、第3四半期連結会計期間以降に本格稼動するラベル・タグ印字受託事業等、先行投資によるコスト増の影響がありました。

また、大手小売業向けに、値下げ管理システム商談や、食材の消費期限管理システム商談が複数進行中で今後の売上拡大を見込んでおります。これらの取り組みにより、売上高は3,168百万円（前年同期比99.7%、除為替影響107.1%）、営業利益は72百万円（同56.8%）となりました。

<欧州>

構造改革に取り組んできた欧州は、本社からの営業指導を継続するとともに固定費圧縮効果により前年同期と比べ大幅に利益改善が進み、赤字額を縮減することができました。引き続き、黒字化を目指して収益基盤確立のための施策を講じております。

売上面においては、代理店ネットワークの拡充、小口のリピート顧客の囲い込み、保守サービスへの注力等により売上拡大と利益確保をはかっております。これらの取り組みにより、売上高は3,067百万円（前年同期比90.8%、除為替影響104.8%）、営業損失104百万円（前年同期は営業損失

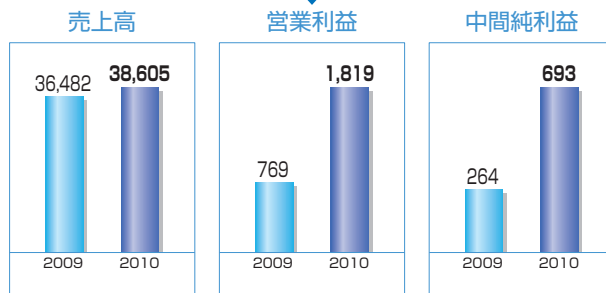
313百万円）となりました。

<アジア・オセアニア>

各国で電子機器製造業、大手流通業、ヘルスケア向けなどの商談が活発化しました。中国ではラベル工場の本格稼動により、ラベル提案をきっかけとした商談が増加したほか、新規代理店開拓が進捗し大幅伸長しました。オセアニア地域では、大手スーパー、ファストフード業向け大口商談や構造改革により、前年同期営業赤字から営業黒字に転換しております。これらの取り組みにより、売上高は3,010百万円（前年同期比125.5%、除為替影響125.91%）、営業利益209百万円（前年同期は営業損失258百万円）となりました。

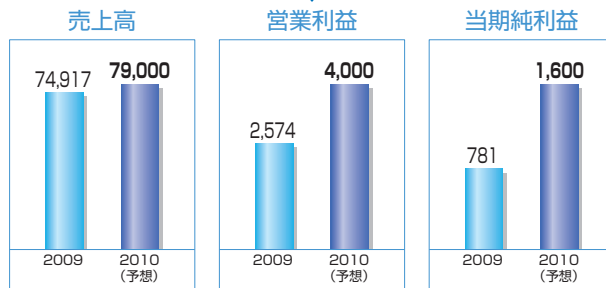
2010年度連結決算（中間期）

（単位：百万円）



2010年度通期予想

（単位：百万円）



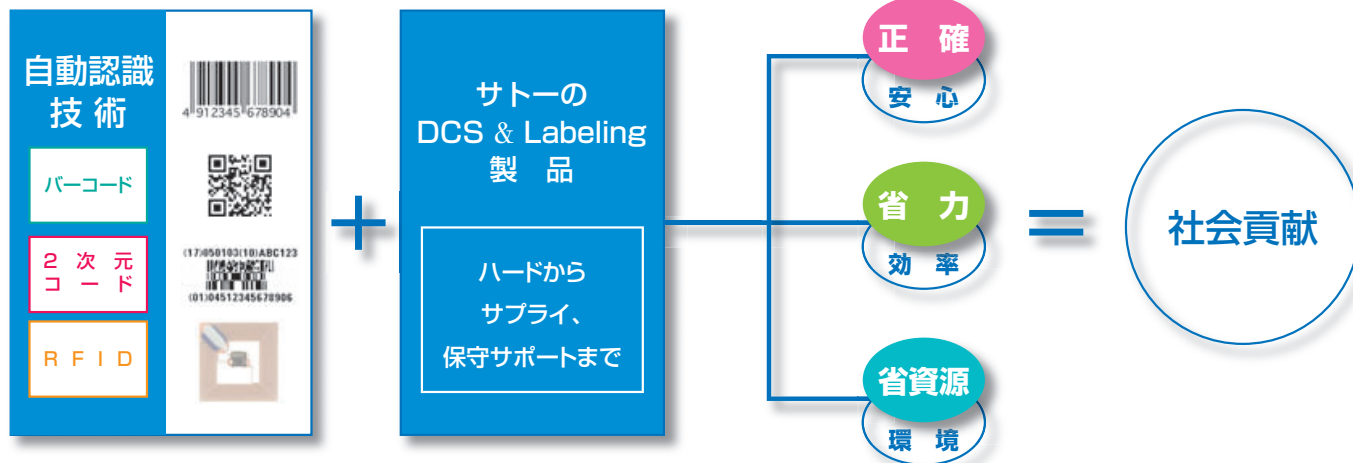
サトーは自動認識システムの総合メーカーとして 社会に貢献します

バーコードや2次元コード、RFID（ICタグ・ラベル）などで表されるデータを、人の手を介さずに読み取り、情報を取得できるのが自動認識技術です。

自動認識技術は今、私たちの生活や企業の発展に欠かせない社会のインフラの一部となっています。商品の購入や交通機関での移動、企業による製造から配送、販売や医療の現場にいたるまで、私たちの身近なところで自動認識技術は活用されています。

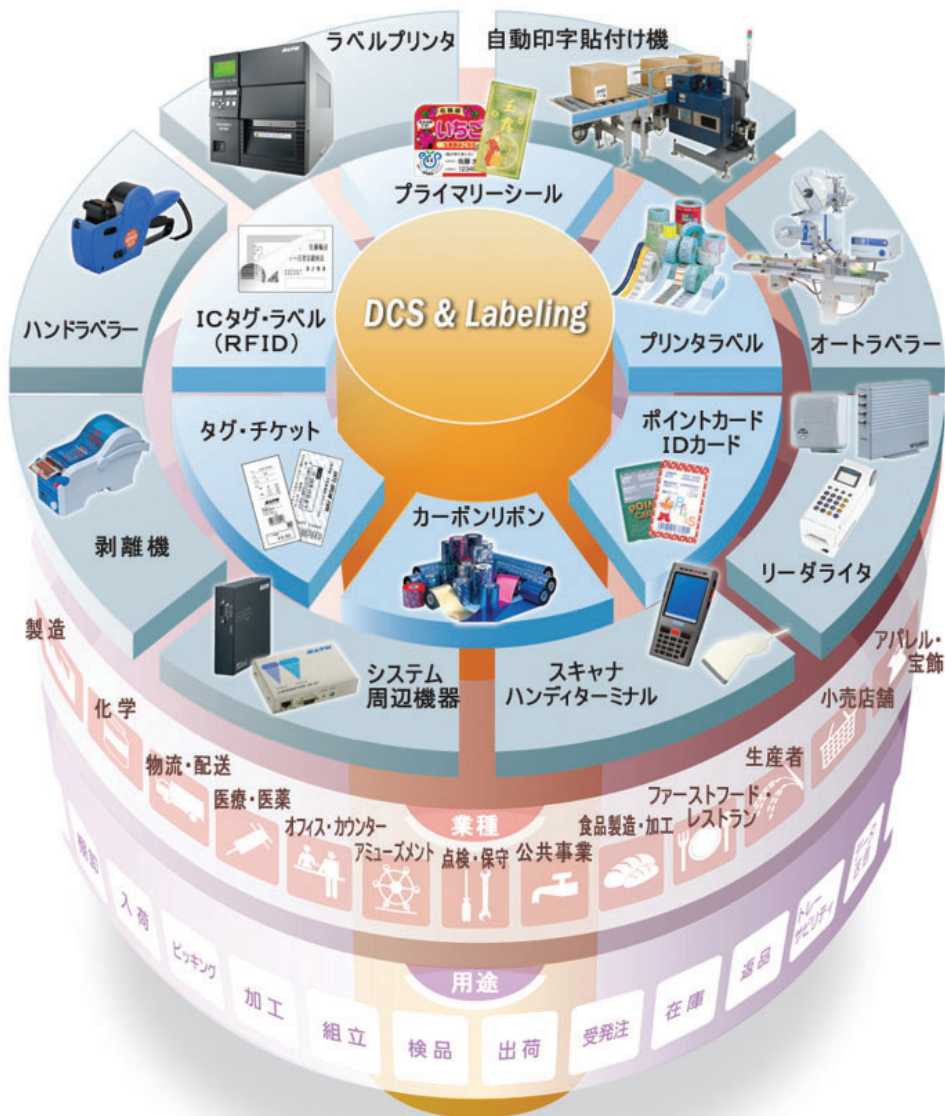
この自動認識技術を駆使し、商品や製品などの「物」の動きや「人」の動きを情報として収集（コレクション）するために、ハードウェアからソフトウェア、サプライ、保守サポートまで、トータル・ソリューションを提供する——それがサトー独自のビジネスモデルである「DCS & Labeling」です。

サトーは自動認識システムの総合メーカーとして、さまざまな分野の「正確・省力・省資源」を実現し、社会に貢献してまいります。





サトーのビジネスモデル「DCS & Labeling」を全世界に展開



サトーのビジネスモデル「DCS & Labeling」は、ラベルプリンタやシール・ラベル、ソフトウェア、スキャナなどの自動認識システム製品を組み合わせ、さまざまな業種のお客様が必要とされる用途に最適なシステムを提案しております。

全国37ヶ所にカスタマーエンジニアが常駐。
地域に密着した保守サポート体制をとっております。



- 2010年「第22回世界ラベルコンテスト」において
“**最優秀賞**”を受賞
- 2010年「第20回シール・ラベルコンテスト」において
“**優秀賞**”“**技術・特許委員会賞**”を受賞

＜第22回世界ラベルコンテスト＞
レタープレス(化粧品)部門 **最優秀賞**

『**美花**』



＜第20回シール・ラベルコンテスト＞

レタープレス部門
技術・特許委員会賞

複合エンボス・ホットスタンプ部門
優秀賞

『**髪美人**』



『**Body Soap**』



FeliCa Liteに対応した初のRFIDプリンタを発売

2010年9月、RFIDプリンタとしては初めて、ソニー株式会社製ICカードチップ「FeliCa Lite (フェリカライト)」に対応するプリンタ「レスブリVシリーズRFID」を発売しました。

FeliCa Liteは、電子マネーや乗車券などで普及している非接触ICカード技術「FeliCa (※1)」をベースにし低価格化をはかったICカードチップで、シールやチケットなど、カード以外の形状に組み込めます。また、累計出荷台数1,000万台以上のFeliCaポート内蔵PCや外付けリーダー/ライター「パンリ」など、企業向けだけでなく民生品としても普及しているFeliCaのインフラを利用できます (※2)。

「レスブリVシリーズRFID」は、このFeliCa Liteチップを搭載したラベルやチケットをオンデマンドで発行できるRFIDプリンタです。

ICチップへのデータ書き込みと同時に、サプライの表面に会員情報やチケット情報を印字できますので、社員証や会員証、ポイントカード、チケット、クーポンなどのニーズに、コストを抑えながら対応できます。



L'esprit V シリーズRFID



FeliCa Liteのラベルを使用した簡易型社員証

※1 FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
※2 ソフトウェア対応が必要です。

新しい自動認識技術「デジタルマーク」で 偽造防止など付加価値の高いラベルを提案

2010年9月、「電子透かし(Digital WaterMark)」を基にデジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社が開発した新しい自動認識技術「デジタルマーク」の使用について、同社とライセンス契約を締結しました。

デジタルマークは、シンボルの一部が汚れや擦れなどで欠落しても読み取り可能という特殊な自動認識シンボルです。また、目に見えないように印刷することも可能ですので、偽造が難しい点も特長です。

これまでの実績は製品表面へのレーザー刻印に限られていましたが、今回の契約により、当社のラベルプリンタでデジタルマークを印字・発行できるようになります。デジタルマークを活用した高付加価値ラベルを、製造業でのトレーサビリティや物品管理からチケットの偽造防止などのセキュリティ対策まで、さまざまな運用に提案してまいります。

特長 1 耐環境性

- 全体の7割が欠けても誤り訂正機能でデータを復元、読み取り可能です。
- 汚れやすい場所など厳しい使用環境にも耐えられます。



データの7割が欠けても読めます!

特長 2 セキュリティ性

- 目視できないように印刷することが可能です。
- 偽造品対策にも活用できます。



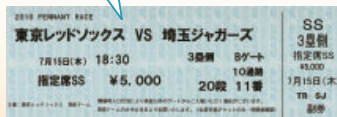
カラー部分にデータが隠されています。

- ラベルプリンタでデジタルマークをダイレクトに印字



スキャントロニクス
SG400R シリーズ

チケットの地紋にデジタルマークを印刷

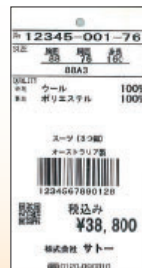


ブランドタグ表面にデジタルマークを印刷

洋服のブランドタグに



チケットに



- もちろん印刷への埋め込みも可能
食品などの商品シールに



シールのデザインにデジタルマークを印刷

■目黒の本社ビルのエコ化について

このたび本社を恵比寿から目黒に移す際に、社長直轄のエコプロジェクトを立ち上げ、新社屋のエコ化を推進するとともに社員の意識向上に取り組んでいます。

1. 電気量監視システムの導入

全館の消費電気をエリア別に逐次確認できるようにしました。また予めセットしておいた目標値を超えると警報が鳴るようにすることで消費電気の節減を推進しています。

2. 太陽光パネルの導入

屋上にソーラーパネルを設置して、補助電力として活用しています。また発電量はロビーフロア受付横のパネルに表示し、ご来社いただいた方も確認することができます。

3. LED照明の導入

LEDの電球型照明は、消費電力が少なく耐久性もあることから高い省エネ効果が得られるため、館内のダウンライト600個すべてにLED照明を採用しました。

4. 複層ガラスの採用

すべてのガラス窓を、ガラスの内側と外側の間に空気の間をもつことで断熱効果を高めた複層ガラスにしました。これによりエアコンの稼働電力を抑えることができました。

5. ハイブリット外灯の導入

風力と太陽光パネルを利用した自立型の外灯を導入しました。

6. OA機器の集約

移転前に使用していたコピー機やOAプリンタを集約することで消費電力と使用量が半減しました。

7. 紙リサイクル

書類を水分解してブロック状の塊にする機器を導入しました。この塊は再生紙の原材料として利用することができ、ごみを出さないという利点のほか機密書類の処理にも有効です。

今後も引き続き屋上緑化や直管型のLED導入などのエコ化を計画しており、エコ製品の生産販売と併せて環境問題に取り組んでまいります。



■CSR報告書「サトーの環 2010」

独自のビジネスモデル「DCS & Labeling」を推進し、「正確・省力・省資源」を実現して、社会に貢献することが私たちの使命であり、今後も社会的存在であり続ける決意としてCSR報告書を作成し、「サトーの環 -社会的存在への宣誓書-」という名称にして発行しています。

1940年に竹材加工機の製造販売を開始して以来、自動結束機、ハンドラベラー、バーコードプリンタへと「あくなき創造」の精神で進化を続けてきました。

今年、創業70周年を迎えたことを記念し、2010年度版はさまざまなCSR活動ピックアップのほか、70年の歴史を掲載しています。



■世界の子供たちにワクチンを届けよう！ “ペットボトルキャップ回収活動”

2008年11月より各拠点でペットボトルのキャップを回収しています。

集めたキャップを回収業者に引き取ってもらい、その売却利益は、世界の子供たちの命を救うためにワクチンの購入資金として、JCV（世界の子供にワクチンを日本委員会）へ寄付されています。



2010年9月30日現在、**964,965g**を回収し、累計で**482人**の子供たちにワクチンが届けられました。



四半期連結財務諸表 (要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別 当第2四半期 連結会計期間末 平成22年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成22年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	41,282	41,125
現金及び預金	12,910	13,584
受取手形及び売掛金	16,198	16,346
有価証券	150	189
たな卸資産	7,814	7,862
その他	4,342	3,301
貸倒引当金	△132	△159
固定資産	24,826	23,078
有形固定資産	17,912	14,994
無形固定資産	1,682	1,875
投資その他の資産	5,231	6,208
資産合計	66,109	64,203
(負債の部)		
流動負債	24,064	22,748
支払手形及び買掛金	4,755	4,666
短期借入金	4,067	3,542
未払金	11,301	10,817
未払法人税等	715	660
引当金	145	152
その他	3,079	2,908
固定負債	6,595	5,469
長期借入金	3,167	2,000
退職給付引当金	1,656	1,719
その他	1,771	1,750
負債合計	30,660	28,218
(純資産の部)		
株主資本	37,181	37,000
評価・換算差額等	△1,828	△1,112
新株予約権	87	89
少数株主持分	8	7
純資産合計	35,448	35,985
負債純資産合計	66,109	64,203

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別 当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	38,605
売上原価	22,325
売上総利益	16,279
販売費及び一般管理費	14,459
営業利益	1,819
営業外収益	106
営業外費用	311
経常利益	1,614
特別利益	13
特別損失	209
税金等調整前四半期純利益	1,418
法人税、住民税及び事業税	700
法人税等調整額	23
少数株主損益調整前四半期純利益	694
少数株主利益	0
四半期純利益	693

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別 当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	△331
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△713
現金及び現金同等物の期首残高	13,774
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,060

※記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

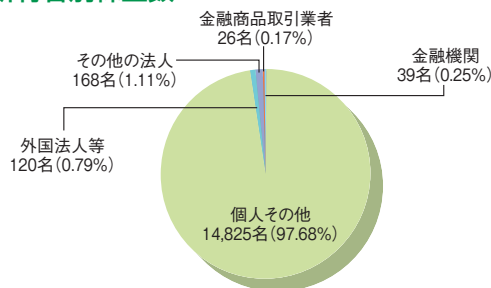
発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 32,001,169株
 株主総数 15,178名

●大株主

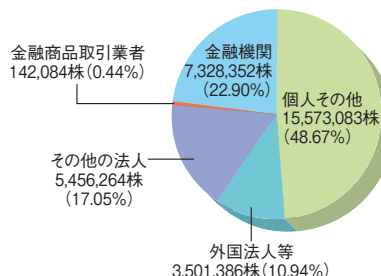
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
公益財団法人佐藤陽国際奨学財団	3,786,200	11.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,315,600	7.23
佐藤 静江	1,598,470	4.99
株式会社アリーナ	1,354,460	4.23
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,340,000	4.18
サトー社員持株会	1,326,897	4.14
横井 美恵子	905,145	2.82
岩淵 真理	853,570	2.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	778,300	2.43
藤田 昌子	652,360	2.03

※自己株式(18,903百株)を除いています。

●所有者別株主数



●所有者別株式数



商号 株式会社サトー
 SATO CORPORATION
 本社所在地 東京都目黒区下目黒一丁目7番1号
 創業 1940年(昭和15年)
 設立 1951年5月16日(昭和26年)
 資本金 6,331,031,908円
 役員

取締役

代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者	西田 浩一
代表取締役執行役員副社長兼最高執行責任者	土橋 郁夫
取締役執行役員副社長	松山 一雄
取締役	藤田東久夫
取締役	脇 敏博
取締役	鳴海 達夫
取締役	小野 隆彦
取締役	鈴木 賢
取締役	山田 秀雄
取締役	田中 優子
取締役	石黒 清子

執行役員

専務執行役員	千田 浩三	執行役員	小瀧龍太郎
専務執行役員	藤井 悦夫	執行役員	熊林 知之
常務執行役員	山田 圭助	執行役員	西山 裕
常務執行役員	安江 大道	執行役員	マイク ファウラー
常務執行役員	田才 進	執行役員	ブライアン ラン
常務執行役員	清原 義文	執行役員	リム イー
常務執行役員	宇敷 謙二	執行役員	高橋 麻子
執行役員	櫛田 晃裕	執行役員	梅川 雷太
執行役員	吉井 清彦	執行役員	三栖 康博
執行役員	デフニ テイ	執行役員	葉山 誠
執行役員	松山智奈美	執行役員	渡邊 信夫

監査役

常勤監査役	米谷 真	監査役	齊藤栄太郎
監査役	西尾 吉典	監査役	犬塚 淳

(注) 1. 取締役のうち小野隆彦、鈴木 賢、山田秀雄、田中優子、石黒清子の5氏は社外取締役であります。
 2. 監査役のうち齊藤栄太郎、犬塚 淳の両氏は社外監査役であります。

決算期 3月31日(年1回)
 主な取引銀行 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行
 みずほコーポレート銀行 日本政策投資銀行
 三菱UFJ信託銀行

従業員数 連結: 3,602名、単体: 1,363名
 売上高 連結: 386億円 (2011年3月期第2四半期)
 <ご参考> 連結: 749億円 (2010年3月期)